

2024年度 JATEセミナー開催模様

2024年11月26日（火曜日）、主婦会館プラザエフ（千代田区）の会場とオンラインを併用したハイブリッド形式により、JATE セミナーを開催致しました。

JATE セミナーは、賛助会員の皆様に向けて、情報通信政策あるいは情報通信技術に関する最新の情報をお届けするため、平成20年度から行っております。

行政と研究開発、それぞれの分野からお一人ずつ講師をお迎えし、最新の取組を含めた貴重なお話を伺うことができました。

総務省 総合通信基盤局 電気通信技術システム課長 五十嵐大和様によるご講演「ネットワークインフラを巡る最近の動向」では、能登半島地震への対応、非常時における事業者間ローミング、経済安全保障推進法といった最新のトピックスをご紹介いただきました。



総務省 総合通信基盤局
電気通信技術システム課長 五十嵐大和様

ご講演後に実施した参加者の皆様からのアンケートでは、

- ・能登半島地震において、各通信事業者が様々な対策を検討・実行している点、参考になった
 - ・能登の震災でどのような活動がなされていたのかが理解でき、今後の震災時への対応の参考になった
 - ・国内ローミングが興味深かった
 - ・非常時のローミングについて、わかりやすくまとまっていた
 - ・海外出張時の海外ローミングオフやスマートウォッチやIoT 機器対象化などの課題が残ることを知り、なるほどと理解が深まった
 - ・経済安全保障推進法など、非常に興味深く伺うことができ有益だった
 - ・経済安全保障については、このようなご説明を聞く機会がなかったので理解が深まった
 - ・経済安全保障に対する並々なる思いを感じられた
 - ・経済安全保障推進法というものがどういうものか、今回初めて知った。今後の経済活動にどのような影響（正の影響、負の影響）が出てくるのかが気になった
- 等、多くのご意見・ご感想が寄せられました。

続いて、

国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバーオブザベーションセンター 研究センター長 衛藤将史様によるご講演「国内の IoT セキュリティの最新状況 -NOTICE における取り組み-」では、IoT 機器のセキュリティ対策向上を目的とするプロジェクト「NOTICE」の活動を中心に、NICT による調査で実際に発見された事例をふまえつつ、国内の IoT セキュリティの最新状況、特に令和 6 年度から始まった新しい NOTICE の事業内容と、そこで見られた具体的な事例をご紹介します。



国立研究開発法人情報通信研究機構
サイバーセキュリティ研究所
ナショナルサイバーオブザベーションセンター
研究センター長 衛藤将史様

ご講演後に実施した皆様からのアンケートでは、

- ・セキュリティは特に重要度が高い分野であり、その中での取り組みやご苦労が分かり、非常に有益だった
 - ・日々ものすごい数のサイバー攻撃が行われている点、またそれを可視化するシステムが存在する点(知りませんでした)、参考になった
 - ・NOTICE のこれまでの歴史と事例がかなり参考になった
 - ・当初の取組からの変遷も分かり易く、理解が深まった
 - ・見えないところで、日本を IT の脅威から守っておられるのだと感じた
 - ・多くの事例と共に説明頂いたので、分かりやすかった
 - ・通信端末、通信網の高度化、高速化により通信を介したさまざまなサービスが増えていく中で、自分自身が通信を利用する上でのサイバーセキュリティを考えるきっかけとなった
- 等、多くのご意見・ご感想をいただきました。

当協会では、賛助会員の皆様から頂いたご意見・ご感想を参考にさせていただき、今後のセミナー開催に反映させてまいります。

なお、賛助会員の皆様には、賛助会員専用ページにて講演資料をご覧いただけます。